

一人の手

第60号

発行日 平成二十四年七月一日
 発行者 佐藤ひろゆき
 事務所 鶴岡市日出一丁目七-六
 〒997-0025
 電話 0235-24-3402 FAX 25-1411
 自宅 1-997-0025 鶴岡市日出一丁目七-六
 0235-25-1411 FAX 25-1411



市議会議員 佐藤ひろゆき

コミュニティの活性化と市職員の地区担当制の導入を

今年4月に、「第二次行財政改革大綱」が、「市民・地域・行政の総合力が発揮できるシステムの構築」と「地域活性化に向けた地域庁舎機能の見直し」の二つのテーマについて策定されました。

その中でも、①「市民・地域・行政の総合力が発揮できるシステムの構築」では、「市民と行政との協働による事業の推進」を掲げ、今後、市民の自発的で自立的な地域活動を一層活発にしていくとともに、従来行政が担ってきた事業においても、市民、地域、企業等の多様な主体を育成・支援しながら、お互いに協力し合う環境づくりが進められます。

②「コミュニティの活性化に向けた環境づくり」では、今後も町内会・自治会組織が地域の中核的な機能を果たしていくために、ハード・ソフト両面からの環境づくりが進められます。小学校区等を単位とした広域コミュニティ組織の育成と拠点の整備、地域活動における外部ボランティアの受入れ等の支援、自治組織への総合交付金の導入が進められます。

③「市職員による地域支援及び地域活動等への参加促進」では、市職員には、地域の実情、地域が抱える課題を調査・分析し、地域との連携のもと、実効性のある地域づくりにつなげていくことが期待されていることから、地域づくり活動を支援する職員地区担当制の導入、災害時地区指定職員制度の拡充が進められます。

私は、①については、前回第57号で「新しい公共」に取り組みすることをお話ししました。今号では、②と③も今後の活動の柱に加えて、頑張ることをお約束します。



2月15日 ひろゆきと新春交流会

第二コミセン



新政クラブ

鶴岡手をつなぐ親の会が市長に要望

2月3日市役所で、障害のある子をもつご家族の皆さんが、日頃ご苦労されていることを榎本政規市長にお話し、市への要望を直接訴えました。



市長と庁議室で懇談に同席

新政クラブ「地域懇談会」開かれる

6月26日、第二学区コミセンで新政クラブ主催、「中心市街地のコミュニティ活動」をテーマに「地域懇談会」が開かれました。日々地域住民の福祉向上にご尽力されています方々より、活発なご意見をいただき、大変有意義なものとなりました。今秋に当局に政策提言させていただきます。



4月15日 九重流鶴城清吟会日出吟友会出場



2月26日 踊り祭り2012に実行委員として活動

吉村県知事と懇談

6月2日、吉村美恵子県知事が「ほのぼのトーク」のため来鶴し、私の所属する「NPO法人公益のふるさとづくり鶴岡」会員と鶴岡市のまちづくり活動についての懇談が丙申堂で開かれました。



6月2日丙申堂 吉村県知事と懇談

山王東部サロンで朗読しています

山王東部サロン(代表五十嵐節子さん)に開設当初から毎月第三水曜日にお邪魔をして朗読しています。



3月31日 市政報告・研修会開催

「新しい公共」について対談

3月25日、鶴岡市総合保健福祉センターで山形県新しい公共推進協議会主催により「新しい公共創造フォーラム」が開催されました。第2部で「新しい公共」と「行政の協働」と題し、静岡文化芸術大学教授の阿蘇裕矢氏と新しい公共について対談しました。



地域主権改革と市議会議員の役割

4月16日、長岡市で開催された地方議会議員特別セミナー「地域主権改革と地方議会議員の役割」を受講しました。地方分権の進展に伴い、地方行政を担う自治体議会議員に期待される役割と責務は非常に重要なものになっています。地域の課題、住民ニーズを的確に把握し、政策に反映していくことが今後一層求められます。



厚生文教常任委員会視察

5月21日岡山県総社市の「障がい者千人雇用」22日愛媛県新居浜市の「障がいや発達課題のある子どもへの一貫した支援体制」と「知的障害者への就労支援」、23日愛媛県今治市の「子育て支援の取り組み」、24日広島県尾道市「高齢者地域包括ケア」、国内の最先端の取り組みを視察し、大変有意義なものでした。本市の政策に生かします。



「つるおか福祉塾」10周年を迎える

平成14年に福祉関係者に呼び掛けて始めた「つるおか福祉塾」が10周年を迎え、2月6日に第三学区コミセンで、神戸の災害ボランティア活動家で、東日本大震災直後から被災地石巻で活動中の「チーム神戸」の金田真須美さんを迎えて、10周年記念講演会を開催し、終了後会員交流会でお祝いをしました。



三和町地内側溝整備を要望しています



今年の政策提言は「再生可能自然エネルギー」

新政クラブでは今年度政策提言のテーマの一つに「再生可能自然エネルギー」を掲げ、2月8～9日新潟県聖籠町のLNG・火力発電所、阿賀野市の太陽光発電所、2月21日は西郷地区活性化交流センターで庄内総合支庁主催の庄内地区の取り組み、4月20日庄内町の風力発電を視察し、積極的に勉強しています。



4月20日 庄内町



2月8日 聖籠町



5月25日天神祭パレード参加



4月2日 荘内教会保育園入園式

社会福祉士国家試験合格しました

1月29日に行われた社会福祉士国家試験に合格しました。佛教大学社会福祉学科通信教育部で8年間学び、受験資格を取得し、今年ようやく合格して社会福祉士としての活動が始まりました。



鶴岡市議会報告

3月定例会 一般質問

急がれる社会的ビジネス支援策

議員 様々な地域課題を税金投入ではなく、コミュニティの再生・地域経済の振興をビジネス手法で解決する社会的ビジネスが広がっている。支援の方針は、企画部長 地域ニーズの把握・先進事例の収集を図り、普及啓発・人材育成・仕組みづくり等効果的な推進方策を検討する。議員 地方経済は震災もあり深刻な状況にある。地元中小企業、中心市街地の商店街への社会的ビジネス起業、経営支援策は、

商工観光部長 事業の立上げ支援が重要と考える。庄内産業振興センター等の関係機関と連携・協力し積極的に支援したい。

議員 高齢化人口減少の農山漁村も生き残りをかけている。地域産食材や耕作放棄地等を活かした起業や団体への支援策は、

農林水産部長 支援策として市の先導的農業組織等支援事業等があり、相談・支援は農政企画室で行っている。活用願いたい。

議員 「住生活基本計画」の住環境整備モデル事業をはじめ、空き家・空き地対策等まちづくりの実践的な事業への支援策は、

建設部長 ランドバンク事業研究会を立上げ、新しいビジネスモデルとして社会実験を官民協働で取り組んでいる。

議員 行財政改革の受け皿として、市民と行政との協働による事業を推進するための支援策は、

総務部長 市民、NPO活動促進のため国県の制度の情報提供、市の支援制度、市有遊休土地建物の活用による支援を促進する。

6月定例会 一般質問

「みらい健康調査」の取組は

議員 本年度より慶応義塾大学、医師会等と連携し、生活習慣病の予防法を明らかにするために、向こう25年以上にわたるコホート調査の基本方針を伺う。

企画部長 メタボローム解析技術による世界初の本調査については、

市民の皆様へのきめ細かな報告に努め、健康事業と連動して展開したい。本調査の運営や成果の活用について、協議会の設置も検討している。



コホート調査に協力して頂いた方に差し上げている手提袋です

障害者就労はチーム支援で

議員 障害者就労支援はチーム支援である。「第3期障害福祉計画」では、関係機関・サービス事業所、市が協力体制を築くとあるがどう取り組むのか伺う。

健康福祉部長 就労移行支援を手掛かりに、地域自立支援協議会に就労部会を設置したい。「障害者保健福祉計画」では、農業分野の支援の可能性を探りたい。

知的障害者を市職員に

議員 県や山形市では知的障害者を非常勤や臨時職員として採用しており、本市でも職員として採用すべきと考えるがどうか。

総務部長 本市における障害者雇用は身体障害で24名が就業している。今後も市として率先して取り組むたい。作業内容、勤務時間、サポート体制、委託業務において調査検討を行い、採用の手だてと委託先へ要請していきたい。